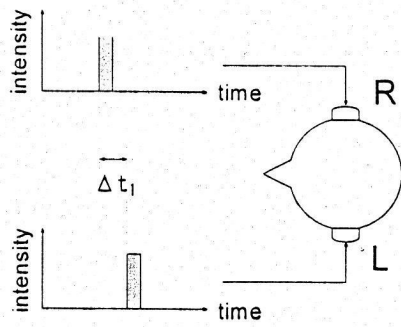
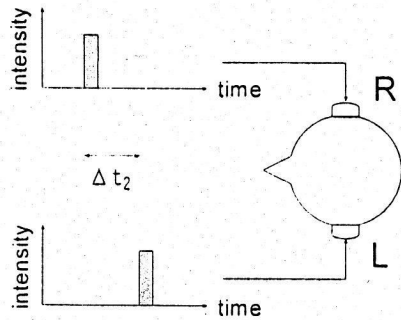


仮現運動／アパレント・ムーブメント (Apparent Movement)



時間差 Δt_1 が微小であれば音像は右側に定位する



時間差 Δt_2 を大きくすると ($\Delta t_1 < \Delta t_2$) 音像が右から左に連続的に移動して聞こえる

さらに時間差が大きくなれば分離した2つの音が右→左の順に聞こえる

音圧レベル差の検知限

- ・理想的な条件で実験すれば人間は 1dB 以下のレベル差でも検知することが出来る (純音の対比較実験)
- ・誰でも容易に検知出来る変動音のレベル差は 3dB 程度 (対比較実験)
--> 消音量が 3dB 以下の装置を効果があると言ってはいけない
- ・何気なく周囲の音を聞いていても検知出来るレベル差は 6dB 程度
--> 一般向けの製品なら 6dB 以上の消音性能が必要
- ・10dB のレベル差なら誰でもその違いがすぐわかる
--> 訓練を受けていない一般の人にも素直に効果を認めてもらえる
- ・20dB のレベル差は劇的な違い --> 画期的新製品